

年度 2009	学期 前期	曜日・校時	月・2	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)		総合英語 III (Comprehensive English III)					
対象年次	2年次	講義形態 演習		教室			
対象学生(クラス等)		2Td	科目分類		外国語科目(英語)		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: 095-819-2078(全学事務室) /オフィスアワー: 授業終了後							
担当教員(オムニバス科目等)							
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標 授業のねらい: 幕末の長崎と、長崎における西洋技術に関する興味深い英文を読みながら、英語のリーディングスキルを養成するとともに、大学において必要な英語の基本語彙や基礎的な専門用語の習得を目的とする。西洋技術に関する英語の長文を理解して読むことを通して、英文を読む基礎を身に付け、応用力へと繋げていく。また、工学を学ぶ上で、技術についての自らの考えを持つ。 授業方法: 予習を充分に行ってきた上で、英文の内容についての意見を発表する。速読と精読によって英文を読み、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握を捉えることができるようにする。テキストの練習問題により、説明と指導をしながら、語彙と文法の定着を図り、リーディングの能力を養う。英作文の指導をする。 授業到達目標: 幕末の長崎に伝えられた西洋技術について、興味を持ち、関心や知識を深める。 英文の読解力を高め、内容の意味を正確に読み取り、理解することができる。総合的な英語力を高め、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。							
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 各 Unit について、Background Information を予め読み、十分な予習を前提とした上で、テキストの英文の精読や速読を行い、また、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び英文読解の方法や技術を指導します。英作文の指導を行います。英文の内容の理解が出来ていることを示すために、発表をしてもらいます。テキストをよく読み込み、練習問題を解いていきます。西洋技術について考えを深めます。 第1回 導入・授業内容の説明 Unit 1 西洋技術を伝えたブルック博士 (1) 第2回 Unit 2 西洋技術を伝えたブルック博士 (2) 第3回 Unit 3 日本最初の医学校の創始者ボンペ博士 (1) 第4回 Unit 4 日本最初の医学校の創始者ボンペ博士 (2) 第5回 Unit 5 オランダ海軍と日本への技術移転 (1) 第6回 Unit 6 オランダ海軍と日本への技術移転 (2) 第7回 Unit 7 オランダ海軍と日本への技術移転 (3) 第8回 Unit 8 オランダ海軍と日本への技術移転 (4) 第9回 Unit 9 西洋式化学と薬学の導入 第10回 Unit 10 オランダ蒸気船会社フェイエノールと日本との関係 (1) 第11回 Unit 11 オランダ蒸気船会社フェイエノールと日本との関係 (2) 第12回 Unit 12 オランダ蒸気船会社フェイエノールと日本との関係 (3) 第13回 Unit 13 オランダ蒸気船会社フェイエノールと日本との関係 : 長崎蒸気工場 1856年 第14回 Unit 14 オランダ蒸気船会社フェイエノールと日本との関係 : 発展 1861-1865年 第15回 まとめと定期試験 英語学習について、各自で目標を定め、努力しましょう。 また、必ず予習をして授業に臨んで下さい。予め単語の意味を調べ、各ユニットの問題を事前に解いておきましょう。 付録 CD を利用して毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に大いに重要です。大いに活用して下さい。							
キーワード		幕末の長崎における西洋技術・英語のリーディングスキル・英作文					
教科書・教材・参考書		共通教材: 英語共通テスト(JACET Basic) 600 円(第 1 回目の授業時に徴収します) Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 『幕末・近代化の先覚者たち』(英光社) (CD 付き) 英和辞書(電子辞書)を必携すること。					
成績評価の方法・基準等		14回目の講義において、総合英語 III, 2Td, 2Te, 2Tf, 2Tg, 2Th の 5 クラス共通で同時に、英語実力テストを行います。5 クラスとも、成績評価の30%が、この英語実力テストの結果で行われます。 残りの70%の評価が、各担当教員により行われます。このクラスの成績評価は下記のとおりです。 定期試験を筆記で行います。定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。 定期試験の成績を70%、共通テスト(JACET テスト)の結果を30%の割合で、最終成績とします。 また、授業態度を非常に重視しますので、注意しましょう。					
受講要件(履修条件)		今年度工学部 2 年生の総合英語 III は、前期総合英語 III の 5 クラスを目的別クラスに分けて実施されます。クラスが指定されますので、自分が受講するクラスを、4 月の最初に全学教育事務室の掲示板で確認してください。授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。					
本科目の位置づけ /学習・教育目標		英語のリーディングスキルを養い、定着を図る。 幕末の長崎における西洋技術についての知識を得る。					
備考(準備学習等)		授業には、必ず予習をして臨んで下さい。 予め英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、CD を聴き、テキストの問題を解いておきます。 工学部目的別のクラス分けは、平成 21 年 1 月に受験していただいた英語学力基礎テストの結果に基づき、リーディング中心型クラスと総合力(基礎力)養成クラスに分けています。					